

4. 編みぐるみ絵本館は地域のホットステーション

小林 秀子

① 活動の目的

健常者と障がい者との差異をなくすのにもっと障害に対する理解を深めるため施設での編んでるシアターでの読み聞かせを進める。

地域のシニアの特技を生かして施設訪問に参加してもらい、差異のない社会環境を身近なところから築いていく。

② 活動概要

本の読み聞かせの重要性が云われる中、幼児だけでなく母親までがまるで聞く態勢にない現状を、絵本に出てくる動物たちを毛糸で編み登場させる編んでるシアターで子育て支援センター、保育所、児童介護施設で読み聞かせを行っています。

また大人への読みがたり「ねんねこ座」を開催し、地域のシニアのそれぞれの特技を披露しあう場とし、さらに介護施設への慰問訪問へとつなげていたり、孫育てに携わることが多くなった年輩者に手遊び、わらべうた、今読まれている絵本の紹介など地域のホットステーションの絵本館として活動をしました。

編んでるシアター館

申し込みにより随時開催しているが、毎月第3木曜日開放日



「ねんねこ座」

毎月第3火曜日（さいたま市見沼区南中野）開催



毎月第4火曜日（さいたま市見沼区東大宮）開催



定期施設訪問

子育て支援センターさいたま北 隔月第3土曜日他 6回



はるの園（さいたま市立児童ディサービス） 毎月第1月曜日 12回
埼玉県立小児医療センター（さいたま市岩槻） 毎月第2水曜日 12回
ねがいのいえ介護児童センター（さいたま市西区） 随時 7回



その他

保育園、子育てサークルなど要請により訪問 6回



決算報告

収入 大同生命厚生事業団助成金		¥100,000
支出		
● 謝礼金 (くるみの会、上尾語り部の会員)		¥20,000
● 会場費		¥38,000
編んでるシアター館	3回 @¥1,000 = ¥3,000	
「ねんねこ座」編んでる会場	5回 @¥1,000 = ¥5,000	
「ねんねこ座」南中野音のあそびば会場	10回 @¥3,000 = ¥30,000	
● 活動運搬費		¥70,000
はるの園	5回 @¥3,000 = ¥15,000	
埼玉県医療センター	5回 @¥3,000 = ¥15,000	
ねがいのいえ	4回 @¥3,000 = ¥12,000	
子ども文化センター	4回 @¥3,000 = ¥12,000	
その他施設	5回 @¥3,000 = ¥15,000	
	1回 @¥1,000 = ¥1,000	
● 作品制作費 (毛糸、手芸綿、人形目玉など)		¥25,450
● 書籍代		¥5,185
● 広告・宣伝・企画費 (カレンダー、チラシ、HP企画)		¥19,856
合計		¥178,491